

\\ ピグマキッズクラブの 4 年生 S・W さん が えらんだ //



「ぼくの わたしの すきな 本」



こんな本だよ



(出版社: 講談社)

この本のことがすき!

ルドルフ (主人公) の友だちのブッチーや、ルドルフ本人、東京に来て初めて出会ったトラねこのイッパイアッテナが言っていた言葉 (「口ほどにもねえやろうだぜ。二度とねこに手出しをしてみろ。こんどは両耳ガブリとやって、ドラえもんみたいなツラにしてやるから、そう思え!」) がおもしろいのと、「イッパイアッテナ」という名前は、本当の名前でなく、「トラ」「ボス」「デカ」「ドロ」というような呼び方があって、ルドルフに、「おれの名まえはいっぱいあってな。」といったらかんちがいした所。

ルドルフという黒ねこが、魚屋でししゃもをぬすみ、トラックににげこんだが魚屋が投げたものに直げきしてきぜつして、気づいたら、ぎふから東京にきていて、その辺りのトラねことなかよくなったが、そのねこは人間語を知っていて、トラねこが人間話を教えたり、友だちと遊ぶが、本心ぎふに帰りかいぬしに会いたい…

本の名前
なまえ

ルドルフとイッパイアッテナ

本を書いた人
か

齊藤 洋 (作) / 杉浦 範茂 (絵)
さいとう ひろし さく すげうら はんも え

ひよんなことから、全く知らない土地へ来てしまったねこのルドルフ。強い野良ねこのイッパイアッテナと出会い、たくさんのことを学ぶよ。ルドルフは無事に飼い主のもとへ戻れるのかな?

